

(様式 1)

日本医療研究開発機構 革新的がん医療実用化研究事業
研究開発提案書

研究開発課題名		日本語表記	〇〇に関する研究開発	e-Rad の記載と一致させてください
(英語表記)		英語表記	Study of 〇〇	
公募名 (事業名)			公募要領第 2 章 2.1 の公募研究開発課題一覧から選択してください。 例) 科学的根拠に基づくがんの支持療法・緩和ケアの開発に関する研究 サブ項目: 4-1-3 (革新的がん医療実用化研究事業)	
			☐ 公募要領第 2 章 2.3 を参照し、上記のサブ項目ごとに設定されている上限額を超えないように留意してください。 ※確認したら☑	
研究開発期間 (本提案における全研究期間)			令和 XX 年 X 月 X 日 ~ 令和 XX 年 X 月 XX 日 (X 年間)	
研究費総額 (直接経費)			全研究期間での総額 (X0,000 千円) ※「7. 各年度別経費内訳」の全研究期間の研究開発費合計と同じ金額を記載ください。	
ヒト全ゲノムシーケンス解析			☐ 実施する ☐ 実施しない ※いずれかに☑。実施する場合、ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコル様式を提出。	
若手育成枠の確認 (若手育成枠対象 Field の場合)			若手 ☐ ※若手枠の要件に合致し、若手育成枠に応募する場合は☑	
研究 開 発 代 表 者	氏 名	フリガナ	〇〇〇〇 〇〇〇〇	
		漢 字	〇〇 〇〇	
		ローマ字表記	Yyyy Yyyyyy	
	性 別		男 ☐ 女 ☐ その他 ☐ 回答したくない ☐	
	生年月 (年齢)		19XX 年 XX 月 (XX 歳: 令和 8 年 4 月 1 日時点)	
	所属機関 (正式名称)		〇〇法人〇〇大学	
	所属部署 (部局)		〇〇学部〇〇学科	
	役 職		〇〇	
	通知書等送付先住所		〒XXX-XXXX 〇〇県〇〇市〇〇町	
	電話番号		XX-XXXX-XXXX	
E-Mail		YYY@YY.jp		
研究開発代表者の情報			https://www,	
研究開発代表者の研究歴 (主な職歴と研究内容)				

※ 提出する際には、青文字の記載例と緑色の説明文を削除してください。

要約（和文）

■ A4 縦 1 ページ以内

■ 背景（今の状況がどのようで、何が求められているのか）、

目的（背景を受け、本課題を実施する目的）、

方法の概略（どのような方法を用いて、どのように研究を実施し問題を解決するか）、

概要を記載してください。

1. 研究の背景・目的

(1) 研究の目的（1000 文字以内）

- ・ 1000 文字以内で、研究開発の目標（研究開発期間終了時に達成しようとする研究開発成果の目標）、研究開発のねらい（上記研究開発成果によって得られるアウトカム及びその意義）、研究開発の準備状況（これまでに進めている部分の概略）を具体的に記載してください。また、必要があれば、適切な数の図や表（字数には含まず）を用いても構いません。

(2) 背景

- ・ 国内・国外の他の研究でどこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのかを踏まえて記入してください。
- ・ 研究開発代表者のこれまでの研究成果を踏まえ、本研究開発の着想に至った経緯について記載してください。本研究開発の重要性・必要性が明らかとなるよう、科学技術上の要請、社会的要請や経済、産業の要請と本研究計画の関係を明確にしてください。

2. 研究計画・方法

(1) 研究開発の概要（1000 文字以内）

- ・ 研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法について、1000 文字以内で記載してください。
- ・ 臨床研究においては、具体的内容（基本デザイン、エンドポイント、統計学的考察、登録数設定根拠など）を記載してください。シェーマがある場合は掲載してください。

(2) 研究開発の内容

- ・ 研究目的を達成するための研究開発の具体的手法、研究開発期間中の到達点とその達成度の判断基準などを、主要な研究開発項目毎・年度毎に分けて、焦点を絞り、具体的かつ明確に記載してください。
- ・ 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と年次計画との関係がわかるように記載してください。

研究開発項目①：○○○○○

- ・ 研究開発項目及び研究担当者（研究開発代表者、研究開発分担者）は、「6. 研究開発の主なスケジュール」の記載と一致させてください。
- ・ 研究開発代表者、研究開発分担者、研究協力者等の具体的な役割を明確に記載してください。
- ・ 各研究開発項目について、本公募事業で支援予定の研究開発期間を超える計画については、令和○年度以降としてまとめて簡潔かつ明確に記載してください。
- ・ 研究開発項目③以降がある場合は、適宜、項目を追加して記入してください。

● 研究担当者 所属機関・部署・役職・氏名

- 1) ○○大学 ○○学部 教授 ◇◇ △○
- 2) ～複数名の場合は続けて記入してください。

● 研究開発の目的及び内容

研究開発の目的及び内容を 200 字程度で簡潔にまとめてください。

● マイルストーン及び研究開発方法

上記の「●研究開発の目的及び内容」を達成するために当該研究担当者が実施するマイルストーン（達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項）、及び達成のための方法を年度毎に記入してください。

「6. 研究開発の主なスケジュール」と整合性をとった記載にしてください。

令和8年度：

令和9年度：

令和10年度：

令和11年度以降：

研究開発項目(2)：○○○○○（「6. 研究開発の主なスケジュール」の研究開発項目(2)と一致させてください）

● 研究担当者 所属機関・部署・役職・氏名

1)

2)

● 研究開発の目的及び内容

● マイルストーン及び研究開発方法

令和8年度：

令和9年度：

令和10年度：

令和11年度以降：

- ・（3－1）生物統計家の関与については、医師主導治験（臨床試験）を計画している研究の場合、必ず記載してください。
- ・（3－2）疫学専門家の関与については、Field1-2 の公募へ提案する場合、必ず記載してください。Field1-3、1-4、1-5 の公募へ提案する場合は、生物統計家と疫学専門家の両者を体制に入れるか、どちらか一方にするか研究の内容により適切に選択して記載ください。
- ・チェック欄「□」は、該当する箇所を「■」にしてください。

a. 生物統計家の関与

(理由：)

a. 疫学専門家の関与

(主な関与でその他を選択した場合、詳細：

(理由：

上記「a. 疫学専門家の関与」において、『有』にチェックをした場合は、必ず記載してください。

[illegible][illegible][illegible]

(上記以外の資格等：

(4) 知財担当者について

知財担当者の関与の有無についてチェックしてください。また、具体の状況・希望等について記載してください。

☐ 無 ☒ 検討中 ☐ 有 (詳細: AMED に支援を希望する)

(5) 倫理面への配慮

a. 遵守すべき研究に関する指針等

研究開発の内容に照らし、遵守しなければならない指針等については、該当する指針等の「□」を「■」にしてください。複数の指針等が該当する場合は、それぞれ「■」を入れてください。

- ☐ 再生医療等の安全性の確保等に関する法律
- ☐ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針
- ☐ 遺伝子治療臨床研究に関する指針
- ☐ 動物実験等の実施に関する基本指針
- ☐ 臨床研究法
- ☐ 省令 GCP
- ☐ その他の指針等（指針等の名称：

b. 本研究開発期間中に予定される臨床研究の有無

臨床研究の有無について該当する方の「□」を「■」にしてください。

- ☐ 有（臨床研究の登録番号： ）
※ jRCT: Japan Registry of Clinical Trials の登録番号などを記入してください。
- ☐ 無

※「有」の場合は、予定される内容を記入してください。

対象疾患	予定される内容、実施時期

c. 人権の保護及び法令等の遵守への対応

- ・相手方の同意・協力を必要とする研究開発、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究開発、安全保障貿易管理、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究開発など法令等に基づく手続きが必要な研究開発が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。
- ・例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換え DNA 実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究開発・実験などが対象となります。
- ・該当しない場合には、その旨記載してください。

[illegible]

3. 研究の将来展望

(1) 社会貢献・新産業創出・科学技術イノベーション創出について

本研究開発構想が達成された場合に期待される、社会貢献・新産業創出・科学技術イノベーション創出について、想定し得る範囲で 1,000 字以内で記載してください。

[illegible]

(2)「国民との科学・技術対話」に対する取り組み等

＜社会との対話・協働の推進＞

「『国民との科学・技術対話』の推進について（基本的取組方針）」（平成 22 年 6 月 19 日科学技術政策担当大臣及び有識者議員決定）においては、科学技術の優れた成果を絶え間なく創出し、我が国の科学技術をより一層発展させるためには、科学技術の成果を国民に還元するとともに、国民の理解と支持を得て、共に科学技術を推進していく姿勢が不可欠であるとされています。本公募に採択された場合には、研究活動の内容や成果を社会・国民に対して分かりやすく説明する取組や多様なステークホルダー間の対話・協働を推進するための取組が必要です。このことを踏まえ、研究成果に関しての市民講座、シンポジウム及びインターネット上での研究成果の継続的配信、多様なステークホルダーを巻き込んだ円卓会議等の「国民との科学・技術対話」について、積極的に取り組むようお願いいたします。

(参考)「国民との科学・技術対話」の推進について(基本的取組方針)

https://www8.cao.go.jp/cstp/stsonota/taiwa/taiwa_honbun.pdf

本提案の研究開発における研究活動の内容や成果を社会・国民に対して分かりやすく説明する取組や多様なステークホルダー間の対話・協働を推進するための取組について、本公募事業で支援予定の研究開発期間中の予定（計画）について記載してください。

[illegible]

4. 研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報

	氏名	所属機関※ ¹	現在の専門	令和8年度 研究経費※ ² (千円)	エフ オー ト (%)
	生年月 (年齢: 令和8 年4月1日時点)	所属部署 (部局) ※ ¹	学位 (最終学歴) 学位取得年		
	e-Rad ID ※ ³	役職※ ¹	役割分担		
研究開発代表者	〇〇 〇〇	〇〇〇〇大学	△△△	X, XXX	XX
	S49/11 (50)	△△△学部△△△学科	△△博士 (〇〇大学) H14 年		
		△△△	研究の統括		
		(主たる研究場所) ※ ¹ △□大学 △△△学部△△△学科 □□□		X, XXX	XX
研究開発分担者	□□ 〇〇	△□大学	□□□	X, XXX	XX
	S50/11 (49)	△△△学部△△△学科	〇〇博士 (□△大学) H15 年		
		□□□	データの解析		
		(主たる研究場所) ※ ¹ △□大学 △△△学部△△△学科 □□□		X, XXX	XX
研究開発分担者					
計 2 名			研究開発経費合計	X, XXX	

※¹ 所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所となる研究機関、所属部署 (部局) 及び役職も記載してください。

※² 研究経費については、直接経費を記載してください。

※³ e-Rad ID を取得している場合のみ記載してください。

【研究開発代表者】上記の所属機関以外に勤務先がある場合は、記載してください。

※主たる勤務場所が本研究開発課題の主たる研究場所及び上記の所属機関と異なる場合は、その旨を備考に記載してください。

本研究開発課題の実施の有無及び、雇用契約や給与受取の有無に関わらず、すべての勤務先を記載してください。

機関名	所属部署（部局）	役職	備考
×□大学	○○学部	× × ×	主たる勤務場所
株式会社○△	－	× ×	

5. 実施体制図

代表研究機関、分担研究機関の組織（所属機関と主たる研究場所が異なる場合については、主たる研究場所についても記載）、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割がわかるように記載してください。また、研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載してください。

【体制図記載例】

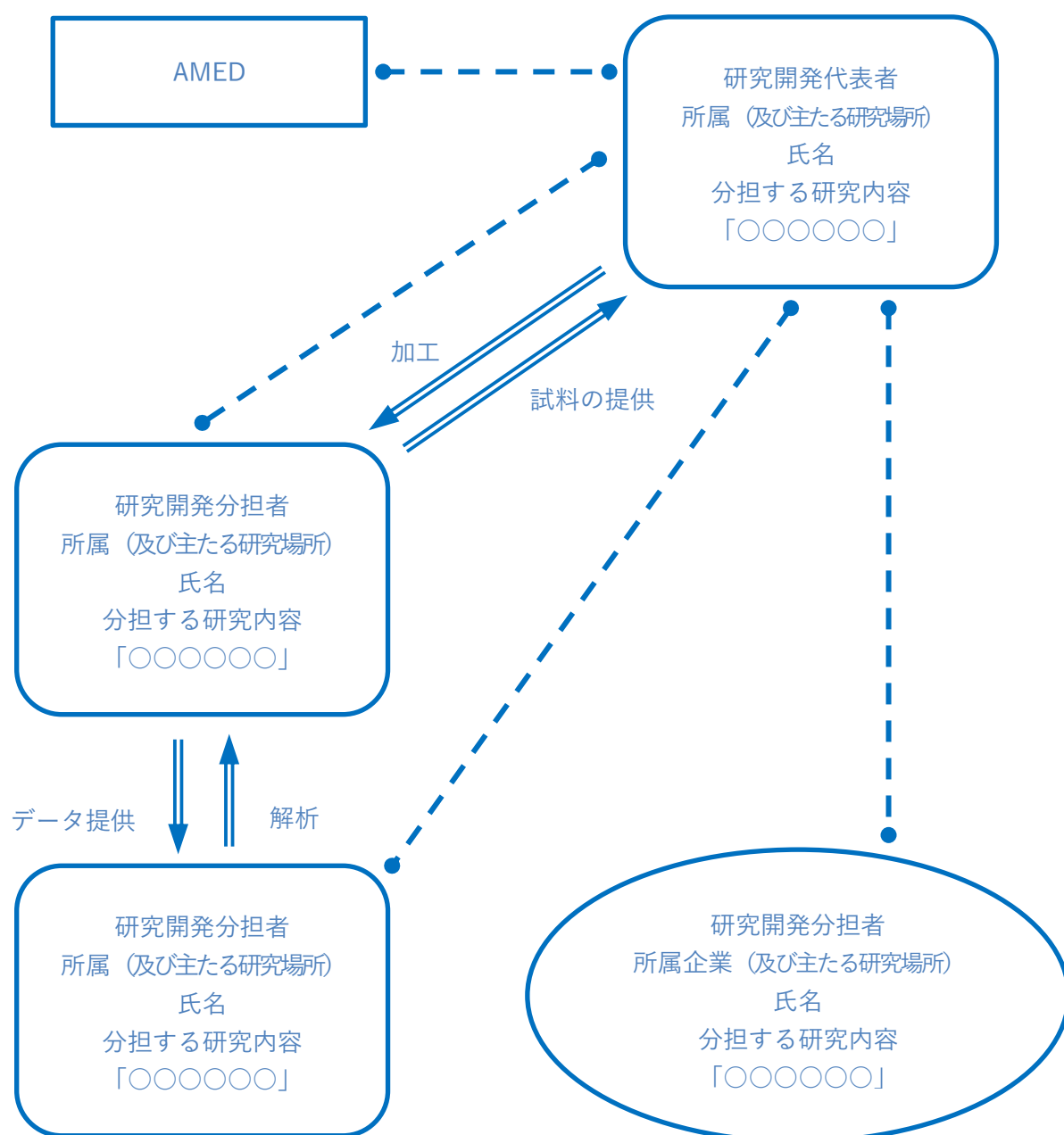
角丸四角形：大学等

楕円：企業

長方形：AMED

点線矢印：契約

二重矢印線：試料・情報等のやりとり、分担



6. 研究開発の主なスケジュール

- ・目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。
※マイルストーン：達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項
- ・項目別のスケジュールや担当者がわかるように記載してください。
※1頁以内で記載してください。
※研究開発項目は、「2. 研究計画・方法（2）研究開発の内容」に記載した研究開発項目と一致させてください。
- ・別途 Excel で作成した表を貼り付けていただいてもかまいません。なお、PDF 化したときに矢印等がずれてしまうことがありますので、PDF 化後に必ずご確認ください。

<担当者>

- ①研究開発代表者：氏名（〇〇〇大学）
 ②研究開発分担者：氏名（〇〇〇機構）
 ③研究開発分担者：氏名（（株）〇〇〇）

.....

研究開発項目 <担当者>	第 1 年度 (R8 年度)				第 2 年度 (R9 年度)				第 3 年度 (R10 年度)			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
(1) 〇〇関連遺伝子 発現解析 ・ 〇〇遺伝子の同定 ・ 〇〇遺伝子発現解析 <①②④>		←		▲ マイルストーン：〇〇〇〇〇〇〇〇					→			
		←						→				
				←				→				
(2)												
(3)												
(4)												
(5)												
(6)												

7. 各年度別経費内訳

・間接経費は年度ごとに円単位まで計算してください。

表に記入する際は、金額の下3桁を切り捨て、千円単位としてください。

(例: 4,615,385 円 → 4,615 千円)

(1) 委託研究開発費

・研究開発費（代表研究機関及び全分担研究機関について合算）の内訳を記入してください。

・間接経費は直接経費の30%以下としてください。

(単位: 千円)

大項目		中項目	R8 年度	R9 年度	R10 年度	計
直接経費	1. 物品費	設備備品費				
		消 耗 品 費				
	2. 旅 費	旅 費				
	3. 人件費・謝金	人 件 費※2				
		謝 金				
	4. その他	外 注 費※3				
		委 託 費				
		そ の 他				
	研究開発費合計					
以下の欄は審査には用いませんが、AMED 事業予算管理のためにご記載をお願いいたします。						
間接経費 (上記経費の 30%以内)						
計上額 総計※1						

※1 若手研究者登用費を計上している場合、合計額における内数を下に記載してください。

(対象 Field への応募で、若手研究者登用を希望する場合のみ対象。該当しない場合は、記載不要です。)

(上表の内数) 若手研究者登用費 直接経費: 円、間接経費 円

※2 研究力向上のための制度 (PI 人件費) の利用を希望する場合は、下記①～③の条件を満たしていることを確認の上、以下の項目を記載ください。(希望しない場合は、記載不要です。)

① 直接経費に PI の人件費 (の一部) を計上することについて、PI 本人が希望していること。

② PI が所属する研究機関において、確保した財源を研究力向上のために適切に執行する体制が整備されていること。

③ PI が所属する研究機関において、研究の業績評価が処遇へ反映されるなどの人事給与マネジメントを実施している

研究力向上のための制度（PI 人件費）とは？：<https://www.amed.go.jp/keiri/youshiki/html>

[illegible]

- 16

(2) 研究機関別経費

(間接経費を含めた金額を記入してください。)

- ・研究機関ごとの各年度の合計額を記入してください。
- ・分担研究機関が4機関以上ある場合は、行を追加してください。

(単位：千円)

種別	機関名	R8 年度	R9 年度	R10 年度	計
代表研究機関					
分担研究機関 1					
分担研究機関 2					
分担研究機関 3					
研究開発費合計額					

(3) 直接経費の具体的な内訳や使用目的

「(1) 委託研究開発費」の各項目の主な経費について、支出計画を具体的にお示してください。

特に『2. 旅費』『4. その他』については、「2 研究計画・方法」との関係や必要性がわかるように記載してください。

(例)・研究開発項目①の〇〇研究における△△に用いる□□の購入：●●千円

・研究開発項目②の CR0 への外注（モニタリング及び監査費用）：●●千円

・R7 年度〇〇学会における成果発表及び情報収集のための旅費（研究開発代表者他□名、出張先国名都市名（米国サウスダコタ））：●●千円

(1. 物品費)

・

(2. 旅費)

・

(3. 人件費・謝金)

・

(4. その他)

・

8. 研究業績

- ・「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した学術論文・著書のうち、主なもの（過去5年間）を選択し、直近年度から順に記載してください。また、この提案課題に直接関連する論文・著書については「●」を付し、当該研究における研究開発代表者の役割を数行程度で記載してください。（研究開発分担者の欄に記載された論文・著書であっても、研究開発代表者が共著者であり、「●」が付されたものについては、当該研究における研究開発代表者の役割を数行程度で記載してください。）
- ・研究業績の記載にあたっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください。例えば、学術論文の場合は、著者名、論文名、掲載誌名、巻号、最初と最後の頁、発表年（西暦）を記載してください。著書の場合は、著者名、著書名、その書誌情報などを記載してください。著者名のうち、「研究開発代表者」には二重下線を、「研究開発分担者」には一重下線を付け、明示してください。なお、学術論文の記載は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限ります。
- ・特許権等知的財産権の取得及び申請状況、並びに研究開発課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）を記載してください。この提案課題に直接関連するものについては「●」を付してください。

(1) 研究開発代表者 ○○ ○○

<論文・著書>

●M. Maru, N. Kaku, S. Jzzz, H. Bbbd, Treatment of pancreatic ……, Nature Medicine, 1,10-20, 2023

研究開発代表者は、本研究の構想と具体的計画の立案を行い、○○○○データ及び△△△△データの取得と解析、解析結果の解釈、論文原案の作成と重要な修正、最終稿の承認、論文内容のあらゆる側面について説明責任を負うことに同意した。（※ここには、研究開発代表者の本研究における具体的な役割・貢献について記載してください。必ずしも例文に沿った記載を求めるものではありません。）

M. Maru, J. Aaaa, B. Ccccd, H. Bbbd, Risk factors for recurrent ……, Cancer Science, 2,17-26, 2022

<特許権等知的財産権の取得及び申請状況>

●出願番号：

発明者：

発明の名称：

出願人：

出願日：

<政策提言>

○○○○○○ガイドライン（○○学会編 XXXX 年）

(2) 研究開発分担者 ○○ ○○

<論文・著書>

N. Kaku, Y. Ffff, T. Dddd, A. Eeea, Prediction of pancreatic ……, Cancer Discovery, 2022, 10, 45-54

●N. Kaku, M. Maru, H. Bbbd, A. Eeea, Establishment of a novel model ……, Nature, 2021, 12, 32-

研究開発代表者は、本研究の重要部分となる□□□□データの取得と解析、論文作成の補助、最終稿の承認、論文内容のあらゆる側面について説明責任を負うことに同意した。

(Researchmap のテキスト出力を貼り付けた例)

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin

Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020 年 3 月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms

Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020 年 2 月

<特許権等知的財産権の取得及び申請状況>

<政策提言>

9. 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

- ・本研究開発課題の研究開発代表者及び研究開発分担者の応募時点における、(1) 応募中の研究費（国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。）、(2) 採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）、(3) その他の活動について、次の点に留意し記載してください。
- ・複数の研究費を記載する場合は、別の行に記載してください。必要に応じて行を追加してください。
- ・「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（%）を記載してください。
- ・「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

【研究開発代表者】

(1) 応募中の研究費（令和●年●月●日時点）

(1-1) 応募中の研究費 AMED 研究費

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名（研究開発代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	令和8年度の 研究経費（直接経費） [期間全体の額] (千円)	エフ ォー ト (%)	研究内容の相違点及び他の 研究費に加えて本応募研究 開発課題に応募する理由
【本研究開発課題】 (R8～R10)	〇〇と△△の相関に関する実験的研究 (〇〇〇〇)	代表	6,000 [18,000]	20	(総額 21,000 千円) *

* () 内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(1-2) 応募中の研究費 AMED 以外の研究費

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名（研究開発代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	令和8年度の 研究経費（直接経費） [期間全体の額] (千円)	エフ ォー ト (%)	研究内容の相違点及び他の 研究費に加えて本応募研究 開発課題に応募する理由
科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究(R7～R8・日本学術振興会)	〇〇と△△の□□への依存性に関する調査研究(〇〇〇〇)	代表	3,000 [9,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 9,000 千円) *

上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載

令和 7 年度〇〇財団研究助成金（R7・〇〇財団）	●●と□□の研究（〇〇〇〇）	分担	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

* （ ）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(2) 採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和●年●月●日時点）

(2-1) 採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費） AMED 研究費

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名（研究開発代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	令和 8 年度の 研究経費（直接経費） [期間全体の額] (千円)	エ フ ォ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
〇〇事業（R6～R8・AMED）	●●と□□の研究（〇〇〇〇）	分担	1,000 [5,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

* （ ）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(2-2) 採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費） AMED 以外の研究費

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名（研究開発代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	令和 8 年度の 研究経費（直接経費） [期間全体の額] (千円)	エ フ ォ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
令和 7 年度〇〇財団研究助成金（R7・〇〇財団）	●●と□□の研究（〇〇〇〇）	代表	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 5,000 千円) *

* （ ）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(3) その他の活動

エフォート： 50 %

(1) (2) 以外の「その他の活動」のイメージ（考え方の整理）

教育	エフォート： 20 %
診療	エフォート： 10 %
社会サービス	エフォート： 5 %
その他（学内事務等）	エフォート： 15 %

【研究開発分担者】（必要に応じてコピーして追加してください）

(1) 応募中の研究費（令和●年●月●日時点）

(1-1) 応募中の研究費 AMED 研究費

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名（研究開発代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	令和 8 年度の 研究経費（直接経費） [期間全体の額] (千円)	エフ オー ト (%)	研究内容の相違点及び他の 研究費に加えて本応募研究 開発課題に応募する理由
	分担者本人への配分予定額（直接経費）				
【本研究開発課題】 (R8～R10)	〇〇と△△の相関に関する実験的研究 (〇〇〇〇)	分担	1,000 [3,000]	20	
〇〇事業（R7～R9・AMED）	●●と□□の研究 (〇〇〇〇)	代表	5,000 [15,000]	30	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 18,000 千円) *
	研究開発期間全体で分担者本人が使用する総額（直接経費）（予定額）				
	本研究課題での分担者が代表者となる研究費の場合、研究開発期間全体で課題全体の総額（直接経費）を記載 例) (5,000+1,000 (当該分担者)) × 3 年				

* () 内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(1-2) 応募中の研究費 AMED 以外の研究費

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名（研究開発代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	令和 8 年度の 研究経費（直接経費） [期間全体の額] (千円)	エフ オー ト (%)	研究内容の相違点及び他の 研究費に加えて本応募研究 開発課題に応募する理由
科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 (R7～R8・日本学術振興会)	〇〇と△△の□□への依存性に関する調査研究 (〇〇〇〇)	代表	3,000 [9,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 9,000 千円) *
令和 7 年度〇〇財団研究助成金 (R7・〇〇財団)	●●と□□の研究 (〇〇〇〇)	分担	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

* () 内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(2) 採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和●年●月●日時点）

(2-1) 採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費） AMED 研究費

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名（研究開発代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	令和 8 年度の 研究経費（直接経費） [期間全体の額] (千円)	エ フ ォ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
〇〇事業（R5～R7・AMED）	●●と□□の研究（〇〇〇〇）	分担	1,000 [5,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

*（ ）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(2-2) 採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費） AMED 以外の研究費

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名（研究開発代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	令和 8 年度の 研究経費（直接経費） [期間全体の額] (千円)	エ フ ォ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
令和 7 年度〇〇財団研究助成金（R7・〇〇財団）	●●と□□の研究（〇〇〇〇）	代表	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 5,000 千円) *

*（ ）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(3) その他の活動

エフォート： 50 %

(1) (2) 以外の「その他の活動」のイメージ（考え方の整理）

教育	エフォート： 20 %
診療	エフォート： 10 %
社会サービス	エフォート： 5 %
その他（学内事務等）	エフォート： 15 %

10. これまでに受けた研究費とその成果等

- ・本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費（所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、（１）【AMED 事業】と（２）【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。
- ・AMED 事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。
- ・それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、研究開発課題名、研究開発代表者又は研究開発分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の代表者のみ。）結果も簡潔に記載してください。

（記載項目）

資金制度名：

期間（年度）：H 年度～R 年度

研究開発課題名：

研究開発代表者又は研究開発分担者の別：

研究開発経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

（１）【研究開発代表者】AMED 事業

- ・AMED ○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円
××××の成果を得た。
- ・AMED ○○事業（B）、H29～R1、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円
××××の成果を得た。

【研究開発分担者】AMED 事業

- ・AMED ○○事業（C）、H28～H30、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円
××××の成果を得た。
- ・AMED ○○事業（D）、H30～R2、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円
××××の成果を得た。

（２）【研究開発代表者】それ以外の研究費

- ・基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円
××××の成果を得た。

【研究開発分担者】それ以外の研究費

- ・基盤研究（C）、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円
××××の成果を得た。

1 1. 本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等

以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED 事業の研究開発課題において記載を求めるものです。別途、公募要領に特記事項等として条件が付されない限りは、採否に影響ありません。なお、記載内容は今後の AMED 事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。

(1) 医学研究・臨床試験における患者・市民参画 (PPI : Patient and Public Involvement) PPI について

本研究開発のプロセスの一環として、患者や市民の知見を参考にする予定があれば、その概要を記載してください。(※詳しくは公募要領 3. 3. 2「医学研究・臨床試験における患者・市民参画 (PPI) の推進」をご参照ください)

※記載に係るポイントは、AMED 公式ウェブサイトをご参照ください

AMED 研究への患者・市民参画 : <https://www.amed.go.jp/ppi/guidebook.html>

(2) 「2. 研究計画・方法」で記載している項目以外で、研究成果の目安となる数値指標等

薬効を示す候補化合物合成の収率は○%を目指す。

(3) 国内の子会社から国外の親会社への本研究開発課題の成果の承継予定について

国内の子会社から国外の親会社に本研究開発課題の成果の承継を予定している場合は、その概要を記載してください。

(記載例)

本研究で得られた結果について、社内規定により海外の親会社に移転予定。

(4) キーワード (疾患名以外、10 単語以内)

提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。(例：研究手法、使用技術、医薬品モダリティ、生命現象、対象部位 (臓器、組織、細胞等)、対象集団 (妊産婦、AYA 世代など)、実験動物等、の具体名)

1. △△計測 2. ○○合成阻害剤 3.

(5) 対象疾患 (10 個以内)

研究の主題に近いものから順番に、主要な疾患名を 10 個以内で記載してください。

なお、未診断疾患が対象の場合は「未診断疾患」、具体的な対象疾患が無い又は未定の場合は「対象なし」と記載してください。

1. △△感染症 2. ○○病 3. □□症候群

(6) 性差を考慮した研究開発の推進について

AMED が支援する研究開発においては、性差が研究対象や成果に影響を与える可能性がある場合、これを適切に考慮することが望まれます。なお、性差としては、「生物学的性 (SEX)」と「社会的・文化的性 (GENDER)」の両視点を持つことが重要であり、AMED では事業共通的な取組を段階的に進めています。令和 8 年度においては、「生物学的性 (SEX)」に着目しますので、本項目では、「生物学的性 (SEX)」に基づき記載をお願いします。

(<https://www.amed.go.jp/program/list/18/01/seisakenkyu.html>)

以下の①②のうち、いずれか 1 つを選択してください。残りは削除してください。

- ①性差を考慮する必要があると判断した
- ②性差を考慮する必要が無いと判断した

以下に選択の理由を記載してください。

(理由)

○○○

(以下は記載例です。なお、理由の文章は1つでも構いません)

記載例)

①性差を考慮する必要があると判断した：

- ・マウスを用いた実験では、雄雌差を考慮し、両性を用いた解析を行う。
- ・臨床研究では、リクルート時は被検者の性別の区別は設けないが、データ解析時は性別によるサブグループ解析、層別解析も行う予定である。結果を外部公表する場合は、可能な範囲で公表する。

②性差を考慮する必要が無いと判断した：

- ・既存の研究や文献において性差を考慮した研究が実施されておらず、現時点で性差の影響に関する知見が得られていないため、性差の考慮は不要と判断した。
- ・既存の研究や文献において性差を考慮した研究が実施されており、性差による影響が認められていないことが確認されているため、性差の考慮は不要と判断した。
- ・研究試料が非常に限定されている難治性疾患であるため、性差の考慮ができなかった。
- ・技術支援基盤構築を行う課題であるため、考慮は不要と判断した。
- ・知財戦略策定を支援する課題であるため、考慮は不要と判断した。

12. 【若手育成枠】公募対象者チェック欄

研究開発代表者：〇〇 〇〇

✓	満 43 歳未満の者（昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者）
	上記以外で、博士号取得後 10 年未満の者（博士号取得日：〇年〇月〇日）
	出産・育児により研究に専念できない期間があった場合（育児休業等の期間：〇〇ヶ月）
	介護により研究に専念できない期間があった場合（介護休業等の期間：〇〇ヶ月）

※ 若手育成枠に応募の研究開発代表者は上記表の当てはまるものに☑を入れてください。なお、上記は令和 8 年 4 月 1 日時点におけるものとしてください。

※ なお、採択後には必要に応じて、出産・育児又は介護の事実及び研究に専念できない期間があったことを証明する関係書類を提出していただく場合があります。